



ペットのための終活



～もしもに備えて、大切なペットの将来を～

ペットの飼い主の方は、「責任を持ってペットの生涯に寄り添いたい」とお考えでしょう。しかし、高齢になると病気やケガのリスクも高まるため、突然の健康状態の悪化などによって、最期までペットの側にいられない可能性があります。

飼い主にもしものことがあった時に、ペットが路頭に迷ったりせず、最期まで幸せな生活を送れるように「ペットの終活」をしておきましょう。

①ペットの引取り先を考えておく

- ・家族や親族、友人、地域の方
- ・里親制度、保護団体など

あなたが飼えなくなった後の譲渡先を探し、お願いをしておきましょう。

新しい飼い主探しは
今の飼い主の義務です。



②エンディングノートを用意しておく

ペットを譲渡した時に備えて、ペットに関する情報を記載しておきましょう。

- ・ペットの名前、生年月日、性別
- ・避妊去勢手術の有無
- ・予防接種の有無や接種日
- ・好きな食べ物、遊び
- ・アレルギーの有無
- ・かかりつけの動物病院 など



③ペット保険への加入・ 加入中のプラン見直し

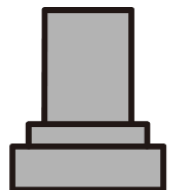
シニア期を迎えたペットは病気やケガのリスクも高くなり、手術を含めて高額な治療費がかかるケースも出てきます。

いざという時にペットが必要な治療を受けられるよう終活を機に、ペット保険への加入・見直しを検討しましょう。



④葬儀や供養の希望を 考えておく

もしも飼い主が先に亡くなった場合、ペットの最期を看取るのは新しい飼い主になるでしょう。その際にどのような供養をしてほしいのか、お墓はどのようなものにしてもらいたいのかなどの要望や意思を残しておくことで希望を叶えてもらいやすくなります。



ペットの終生飼養は飼い主の責任です。

もしもの時にペットが取り残されないために
しっかりと準備をしてください。

名張市役所地域環境部 環境対策室
0595-63-7492